

- 問1 火山活動によって山頂付近が陥没してできた巨大なくぼ地を何という？
- 問2 大都市の近くで、消費者のニーズに合わせて野菜や花などを栽培する農業形態を何という？
- 問3 南九州の広範囲に及ぶシラス台地を形成した、自然の大きな現象を何という？
- 問4 崩れやすく浸食されやすい性質を持つシラス台地において、大雨の際に発生する恐れがある災害を何という？
- 問5 熊本県で栽培が盛んな、畳の材料として使われる植物を何という？
- 問6 火山灰が堆積してできた、南九州に広がる水はけの良い台地を何という？
- 問7 佐賀県の南部に広がり、米作りが盛んな、佐賀平野の別名を何という？
- 問8 鹿児島湾に浮かび、現在も活発な火山活動を続けている有名な火山を何という？
- 問9 阿蘇山に見られるような、火山の活動によってできた巨大な凹地を何という？
- 問10 筑紫平野などで見られる、水不足を防ぐために網の目状に掘られた水路網を何という？
- 問11 佐賀県の有田町を中心に生産され、日本で初めて焼かれたと言われる伝統的な焼き物を何という？
- 問12 1914年の大規模な噴火により、桜島が地続きになった半島を何という？
- 問13 九州南部に広がる、水はけが良すぎて稲作には不向きな火山灰質の土地で行われている農業を何という？
- 問14 阿蘇山周辺に見られる、火山活動によってつくられた土壌を何という？
- 問15 筑紫平野のように温暖な気候を生かして、同一の耕地で一年に二種類の作物を栽培することを何という？
- 問16 九州地方において、経済や交通の中心地として発展しており、政令指定都市にも指定されている福岡県の県庁所在地を何という？
- 問17 宮崎県や鹿児島県にまたがる、険しい山々が連なる地域を何という？
- 問18 有明海の豊かな栄養分と潮位差を利用して行われる、日本一の生産量を誇る養殖産業を何という？
- 問19 かつて九州地方において、アジアとの外交や防衛の拠点として設置された官庁を何という？
- 問20 桜島が位置している、鹿児島県の湾を何という？
- 問21 沖縄県で盛んに栽培されている、温暖な気候を好む果物を何という？
- 問22 宮崎県などで盛んな、温かい気候を利用して、季節を早めて作物を育てる栽培方法を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え カルデラ	阿蘇山に見られる世界最大級のカルデラは、非常に広い面積を誇ります。このくぼみの中には集落や農地が存在し、人々が生活を送っているのが大きな特徴です。カルデラ内には温泉が湧き出ることも多く、観光資源としても重要です。
問2	答え 近郊農業	大都市近郊で、鮮度が重要な野菜や花などを生産する農業形態です。輸送コストを抑えられるだけでなく、需要に応じた生産計画が立てやすく、効率的な販売ができる利点があります。長崎県などでも、温暖な気候を活かして都市部向けに生産が行われています。
問3	答え 火山活動	南九州のシラス台地は、数十万年前から数万年前にかけて発生した、極めて大規模な火山活動によってもたらされました。その際、地下のマグマが噴き出し、火砕流として広い範囲を覆い尽くしました。この火砕流の噴出物が固まり、長い期間の浸食を経て、現在の特徴的な台地地形が完成しました。
問4	答え 土砂災害	そのため、特に梅雨の時期や台風の通過時に激しい雨が降ると、地盤が緩んで崖崩れや土石流といった土砂災害が引き起こされます。このため、住民の命を守るための避難計画や、治山・治水対策が非常に重要視されています。
問5	答え い草	い草は、畳の表面を覆うゴザの部分に使用される植物です。熊本県はい草の国内生産シェアの大部分を占めており、特に八代地方での栽培が有名です。
問6	答え シラス台地	この火砕流が堆積してできた地層は「シラス」と呼ばれ、これによって形成された台地がシラス台地です。シラスは粒子が粗く水はけが良すぎるため、田んぼを作ってもすぐに水が抜けてしまうという性質があり、長年農業に悩まされてきました。
問7	答え 筑紫平野	筑紫平野は九州最大の面積を持つ平野の一つであり、有明海に面しています。温暖な気候と豊富な水を利用して稲作が非常に盛んで、日本有数の穀倉地帯としての役割を担ってきました。
問8	答え 桜島	桜島は、かつては島でしたが、過去の巨大噴火で溶岩が流れ出し、大隅半島と陸続きになりました。火山活動が非常に活発で、日常的に噴煙を上げている様子は、この地域を象徴する光景となっています。
問9	答え カルデラ	阿蘇山は、この過程で形成された世界最大級のカルデラを持つ火山です。カルデラ内には平坦な土地が広がっており、阿蘇市などが位置しています。この巨大な窪みは、長い年月をかけて雨水が溜まったり、火山活動で地形が変化したりすることで今の姿になりました。
問10	答え クリーク	クリークは、田んぼの間に網の目状に掘られた水路のことです。貯水池としての機能を持つだけでなく、周辺の農地へ水を運んだり、排水を行ったりする重要な農業用水路として利用されてきました。
問11	答え 有田焼	日本で初めて磁器が焼かれた場所として知られる有田で生産される焼き物です。透き通るような白磁に華やかな絵付けが施されたものが多く、海外にも多く輸出された歴史を持ちます。伊万里港から出荷されたため、「伊万里焼」とも呼ばれます。
問12	答え 大隅半島	1914年（大正3年）に起きた大噴火では、凄まじい量の溶岩が流出しました。この溶岩流によって、それまで海峡であった部分が埋め立てられ、桜島は東側に位置する大隅半島と物理的に繋がりました。これにより桜島は島ではなくなった経緯があります。
問13	答え 畑作	この地域では、その土地の性質を活かして、水不足の影響を受けにくいサツマイモ、ダイコン、お茶などの栽培が盛んに行われています。これを総称して畑作と呼びます。
問14	答え 火山灰	これらは火山灰と呼ばれ、堆積すると土壌となります。阿蘇山周辺の広大な土地には、この火山灰が厚く堆積した層が広がっています。火山灰土壌は水はけが非常に良いという特徴がありますが、一方で養分を保持しにくいいため、古くは肥料を工夫するなどの努力が必要でした。
問15	答え 二毛作	二毛作とは、主に夏から秋にかけて水稲（お米）を栽培し、その後の冬から春にかけて小麦や大麦などを栽培する農法のことです。土地を一年中有効に利用することで、農家の収益向上や食糧供給の安定に大きく寄与してきました。
問16	答え 福岡市	政令指定都市に指定されており、九州の政治・経済・文化の中心的な役割を担っています。特に福岡空港が市街地から近く、交通の利便性が非常に高い点や、アジア諸国に近い立地からビジネスの拠点として重要視されています。
問17	答え 九州山地	九州山地は、宮崎県と鹿児島県の県境付近に広がる山脈で、九州の「屋根」のような存在です。地形が非常に険しいため平地が少なく、人々の居住地は主に沿岸部に集中しています。
問18	答え 海苔	この独特な環境を利用して、支柱を立てて網を張る「支柱式養殖」などが盛んに行われており、海苔の生産量は全国でもトップクラスを誇ります。
問19	答え 太宰府	現在の福岡県筑紫野市付近に置かれた官庁で、西海道（九州）を統括する行政機能と、海外からの使節を迎える外交機能、そして九州の防衛機能を持っていました。特に「遠の朝廷（とおのみかど）」とも呼ばれ、非常に重要な役割を果たしました。
問20	答え 鹿児島湾	鹿児島湾は、火山活動が活発な桜島を中央に抱え、北側にはカルデラ地形を持つ独特の湾です。海の中にも火山の根があるため、独特の海洋環境が形作られています。地質学的には「錦江湾」とも呼ばれ、古くから海上交通の拠点として活用されてきました。
問21	答え パイナップル	パイナップルは、寒さに弱いため、国内では主に沖縄県などの温暖な地域で栽培されています。特に石垣島などの離島を含め、広大な畑で生産され、ブランド化も進んでいます。温暖な気候は、糖度を高く保つために不可欠です。
問22	答え 促成栽培	促成栽培は、ビニールハウスなどを利用して保温し、作物の生育を早めて通常よりも早い時期に出荷する技術です。ピーマンやキュウリなどの野菜生産において非常に大きな成果を上げています。